



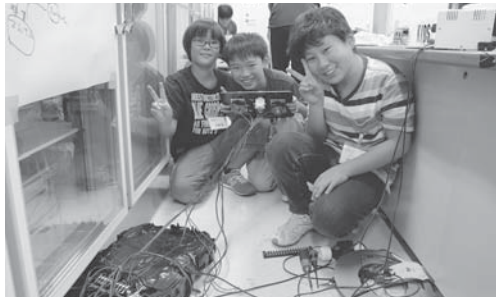
ゼロからのモノ作り

自治医科大学で開催されました

自治医科大学分子病態研究部の西村智教授が、「ゼロからのモノ作り」として、オリジナルロボ・ふしぎカメラ・自分コスメ作り教室を開催し、市内外から応募した30人の子どもたちが参加しました。

子どもたちは、ゼロから作っていく、自分で考える、試行錯誤しながら作ることを大事にして、ものを作ることで、どうやってものができているのかを知り、自分の思いのままに作る楽しさを学ぶことができました。

自治医大では、手を動かして、ものづくりの面白さを体験する教室のほか、公開講座なども開催していますので、ぜひご参加ください。



参加した子どもたちと完成品

消防団夏季点検

市民の生命と財産を守るために

7月22日、国分寺運動公園で消防団の夏季点検が実施されました。

この夏季点検は、いつ起こるかわからない火災や災害に対し、常に万全な態勢で対応ができるように行われるものです。

市内全域から消防団員と21台の消防団車両が集まり、倉井団長の指揮のもと服装点検・機械器具点検が実施されました。

災害は人命や財産を一瞬で奪いかねない恐ろしいものです。その災害を最小限に防ぐための消防団ですが、市民の皆さんの協力が不可欠です。消防団の活動に対し皆さんのご理解とご協力をお願いします。



服装点検の様子

男女共同参画のつどい in しもつけ

男女がお互いを尊重することの大切さを再確認しました

7月28日、グリムの館で男女共同参画のつどいinしもつけを開催しました。

つどいでは、男女が互いを認め合い、思いやりをもてる男女共同参画社会の実現を目的として、映画上映のほかワーク・ライブ・バランス等についてのパネル展示を行い、来場された方たちに身近な男女共同参画について理解を深めていただきました。



かんぴょうまつりを開催しました

かんぴょうむきやゲームに盛りあがりました

7月21日、道の駅しもつけにおいて、「第8回しもつけかんぴょうまつり」を開催しました。

本市のかんぴょうは、栽培面積・生産量ともに日本一を誇る特産物です。イベントは生産者と消費者の交流を深め、かんぴょうの生産振興と消費拡大を図ることを目的としております。

当日は、かんぴょうむきやふくべ細工などの体験コーナーや、かんぴょう太巻きゲームなどが行われ、会場は1,500人を超える多くの来場者で賑わいました。



かんぴょう太巻きゲームの様子